

# 「札幌市を対象とした感染拡大防止に向けた施策について（道案）」 等に対する主な意見

## 1 有識者・専門家等の意見

- ・要請の内容に異論はない。
- ・期間を3週間としているが、これまでの対応との一貫性を持たせるため、期間中に目標が達成された場合は、早期の終了もあり得ることを示すべき。道民のモチベーションを保つためにも必要と考える。
- ・感染状況に照らし、やむを得ない、必要な対応と思う。
- ・札幌市内での感染拡大の状況を踏まえ、全道への拡大を回避するため、札幌市内を対象として、道の警戒ステージ4相当の強い措置を講じる必要性については理解する。
- ・感染を抑え込むための措置として求める「不要不急の外出自粛」に対して、道民に慣れや疲れが生じていることが懸念されることから、最近の感染事例などを基に特に注意すべき行動を分かり易く伝えることで、負担感の軽減を図りつつ、的確な行動抑制が図られるよう、工夫を凝らすべき。
- ・早めの判断は致し方ない。札幌の病床数からみても妥当な判断だと思う。特に、目標値として、新規感染者数293人/週以下、病床数110床以下とわかりやすい設定になっていることは、札幌市民に協力を求めやすい。このままだと、ワクチン接種に支障が生ずることが予想されることも知らせた方が良い。病院・保健所機能を守ることで感染拡大を防ぐことをアピールすべき。災害時の「自分を守る行動・命を守る行動」の中に、感染防止行動の実践も含めるべき。一人ひとりの行動が、感染拡大を防ぐということをもう一度確認すべき。
- ・道庁の案に同意する。札幌市の対応はやむを得ないと思う。
- ・北海道の案に賛成。今、札幌での感染拡大を抑えることは全道での感染拡大を抑えることになり、有益。道民、札幌市民に、「また自粛か」と思われぬように措置の必要性について丁寧な説明をお願いしたい。
- ・道案に賛成。転勤や進学等で移動の多い時期であるため人の移動は避けられないが、対策としては必要な段階と考える。最優先課題はワクチン接種と考えるので、接種スケジュールに影響が出ないよう強い措置が必要。
- ・札幌市を対象とした感染拡大防止対策については、今が正念場なので、感染抑制のため、これまで以上に札幌市民に対し積極的なアピールが必要。
- ・札幌市を対象とした感染拡大防止のための特措法に基づく強い措置を講じることにかかる道の考え方については、異論なし。
- ・今回、道が感染拡大の兆しを迅速にとらえて強い措置をとろうとしていることは、適切であり、感染拡大防止に向けた対応として、道民からも理解され、高く評価されるものであると考え。道内の感染状況についてまとめて記述されている内容は、適切にわかりやすく整理されている。今回の協力要請の内容について、外出制限および往来制限の要請であることに異論はないが、要請期間が年度替わりの時期に当たり、道都札幌市は年度替わりにおける各種道内外間移動機会等のコアであることを考えれば、「感染の再拡大防止に向

けて」(令和3年3月8日施行)による感染防止行動の実践が、いっそう重要になる。外出制限等の要請に当たり、この感染防止行動の実践についても適切に道民、札幌市民の皆様のご理解を得て、実践していただけるよう、合わせて十分なメッセージの発信が必要。今回の要請期間が過ぎれば、間もなくゴールデンウィークとなり、一般的に、医療現場にとっても通常でも厳しい時期になるので、医療現場の負荷が再び著しく高まることのないよう、引き続きお願いする。

## 2 関係団体の意見

- ・ 集中対策期間が終了して1か月も経たないうちに、再度、「札幌市内の外出自粛や札幌市との往来自粛」が要請されることについては、現下の感染状況を考えれば、やむをえない。一方、「対策疲れ」「コロナ慣れ」などによる道民の感染防止に対する意識の低下を懸念。札幌市と連携の上、今一度、札幌市民をはじめとする道民や事業者が前向きに感染防止対策に取り組めるようなメッセージの発信をお願いしたい。
- ・ 今回の要請期間中であっても、札幌市において「道の警戒ステージ3相当以下」という目標を達成した場合には、要請を解除し、札幌市についても「新しい旅のスタイル」事業を開始していただくようお願いしたい。
- ・ 「変異株」について、従来の新型コロナウイルスとの違いや、感染防止に向けて特に留意する点、感染後の対応などについて、専門家の知見も踏まえつつ、詳らかにしていただき、道民や事業者の不安を軽減するような取り組みをお願いしたい。
- ・ これから3月・4月、就職・進学や人事異動等で人が移動する時期を迎える。「年度末・年度始めにあたっての感染防止行動」の徹底について、道民や事業者に改めてメッセージを発信いただきたい。
- ・ 警戒ステージ4相当との判断からの措置であり、解除条件を明確にし、実効性を伴う丁寧な説明、協力要請を行ってほしい。
- ・ 札幌市において、感染の増加傾向が継続している状況から、札幌市内の協力要請はやむを得ないとする。
- ・ 外出・移動の自粛を強く要請することは、「移動自体にリスクがある」という誤った認識を定着させることを危惧しており、「移動する行為自体はリスクが低いこと」と「移動先での過ごし方によってはリスクが高まること」とを明確に分けた上で、各々に対策を策定し、的確な情報発信をすべき。この度の道案は、飲食店等に対する自粛要請がない一方で、公共交通に対しては多大な損失をもたらすものであると考えるので、バランスの取れた効果的な対策となるよう、再考を求める。
- ・ 変異株の発生状況からするとやむを得ないと思われるため、特に異論なし。